

農業IoTソリューション (e-kakashi) の提供

(実施期間 : 2015~)

技術テーマ区分番号 : ⑬

主な実施場所 : 竹芝本社 (東京都港区)

取組活動の内容

事業目的・概要

● 概要

「e-kakashi」は温湿度、日射量、土壤水分量のほか、二酸化炭素濃度などさまざまな環境データを見る化するだけでなく、実際の栽培作業と紐づけることで電子マニュアル「ekレシピ」に落とし込むことができ、栽培技術の継承に役立てることが可能で。また、植物生理学などの科学的根拠に裏付けされた分析結果を用いて、生育ステージごとに直面するリスクや、対応すべき最善策をナビゲートすることで、品質の向上や増産などに貢献します。

また、環境データなどに関する知見を生かして、芝生や森におけるCO2吸収量をリアルタイムで見える化するシステム※を開発しました。CO2排出量削減を目指し、緑化の取り組みを行う企業の他、ゼロエミッションを掲げるスマートシティ・スマートビルなどに注力する企業・自治体においても広く活用していただくことを目指します。

※特許出願中

関連外部リンク先

- ソフトバンク株式会社 e-kakashi [<https://www.e-kakashi.com/>]

イメージ図



図1 : e-kakashiのイメージ



図2 : CO2吸収量を表示する画面イメージ

公的資金の活用状況（提供元、資金名、活用期間、スキーム等）

- 総務省プロジェクト 2018~2020年(3か年)